

澤村の縫製子会社 光洋日向

## 差別化商材開発に力

### 需要取り込み安定操業

繊維商社、澤村（大阪  
市中央区）の国内インナ  
ー縫製子会社である光洋  
日向（宮崎県日向市）で  
は小ロット・短納期を求  
めるアパレルからの旺盛  
な受注を背景にフル操業  
が続いている。今後は素  
材からの一貫提案をより  
強化した上で差別化商材  
の開発にも力を入れ、収  
益力を引き上げる。

同社は澤村が90%を出  
資する縫製会社。1996  
0年に光洋の日向工場と  
して操業を開始し、20  
08年に澤村の子会社と  
して新たに設立、改組し  
た。縫製アイテムはスリ  
ップ、ショーツ、ソフト  
ブラなどレディースイン  
ナー。現在の従業員は女  
性のみ31人で、月産最大  
能力は2万点。



スタッフは若手からベテランまで多様

澤村の素材背景や営業  
力を強みに国内有名イン  
ナーアパレルからの受注  
は安定している。澤村の  
オリジナル備蓄生地ブラ

ンド「ネクスト  
・ステージ」を  
活用した小ロッ  
ト・短納期対応  
が顧客から高く  
評価されている  
ほか、別注でも  
澤村の和歌山ニ  
ット産地や北陸  
産地での生地コ  
ンパティンク  
力との連携に定  
評がある。

小ロット・短納期対応  
や別注品対応に伴って定  
番品比率が少ないことが  
今後の課題。定番品比率  
を上げること安定操業

を狙いつつ、「お米もおか  
ずも必要」（澤村の野田悦  
雄インナー事業部長代行  
兼インナー2部長兼光洋  
日向取締役）として、今  
後はパターンやデザイン  
で独自性を出した差別化  
商材の開発にも力を入れ  
る。

安定操業の一方で縫製  
工賃は低位なため利益は  
あまり出せていない。連  
結業績への貢献という意  
味でも差別化商材の開発  
によって利益率を引き上  
げていく。その後には光  
洋日向単独での企画や営  
業も視野に入れる。